

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和2年度
後期

日本語論述

10:00~12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙 (25字×40行=1000字) は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語（横書き）で記述しなさい。なお、適当な箇所で行って段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

【問題1】

近年、大学が「生涯学習」の場として期待されている。生涯学習とは、「平成29年度文部科学白書」によると、「一般には人々が生涯に行うあらゆる学習」であり、学校教育、家庭教育、文化活動、ボランティア活動、企業内教育など、「様々な場や機会において行う学習」を意味するものとして用いられるという（※）。その意味で、スタディーツアーも生涯学習の一つであろう。生涯学習が個人および社会にとってどのような意味を持つか論じなさい。その上で、さらに大学が生涯学習においてどのような役割を果たしうるか、あなたの考えを述べなさい。

※出典：「平成29年度文部科学白書」（文部科学省）116ページ

【問題2】

日本で学ぶ外国人留学生の数はほぼ一貫して増加しているが、卒業後も日本にとどまる学生の数は限られる。日本学生支援機構が行った調査によれば、日本の大学に所属する留学生の約70%が日本での就職を希望している（※1）。一方で、大学（学部・院）を卒業・修了した留学生の日本での就職率は、2017年の時点では35%にとどまっている（※2）。留学生が日本で就職する際の課題は何だと考えるか。留学生側の課題と日本企業側の課題の両方について論じなさい。

※1 出典：「平成29年度私費外国人留学生生活実態調査概要」（日本学生支援機構）PDF版48ページ

(https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj_chosa/_icsFiles/afiedfile/2019/04/04/ryujchosa29p00_4.pdf)

※2 出典：「平成29年度外国人留学生進路状況調査」（日本学生支援機構）PDF版1ページ

(https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_d/_icsFiles/afiedfile/2019/03/29/degrees17.pdf)

【問題3】

現在、一部の地方公共団体では、人工知能（Artificial Intelligence）を活用した行政サービスが導入されている。通話やチャットができるスマートフォンアプリのLINEを使用して、市民からの問い合わせなどに対話形式で24時間自動応答するものが好評であるという。このサービスにおいてあなたが想定するメリットとデメリットを論じなさい。